

第2回佐賀県立牛津高等学校魅力強化委員会

日時：令和4年10月17日（月）17：00～

場所：佐賀県立牛津高等学校 会議室

会次第

1 開会

2 学校長挨拶

3 協議

- （1）これまでの事業についての報告
- （2）地域との連携について
- （3）学校評価の中間評価について
- （4）SAGA コラボレーションスクール事業の評価について
- （5）その他

4 閉会

目次

○目次	1 ページ
○参加者名簿	2 ページ
○協議	
・これまでの事業についての報告	3 ページ
・地域との連携について	5 ページ
・学校評価の中間評価について	6 ページ
・SAGA コラボレーションスクール事業の評価について	7 ページ
◆参考資料（別冊）	
・小城市報「さくら」の記事	1 ページ
・ロイヤルチェスタービアテラスチラシ	2 ページ
・早岐中の進路だより	3 ページ
・11月13日実施予定学校見学会ポスター	4 ページ
・SAGA コラボレーションスクール事業年間計画表	5 ページ
・学校評価中間評価（案）	6 ページ
・学校魅力化評価システム結果	7 ページ

第2回 佐賀県立牛津高等学校魅力強化委員会 参加者

参加委員9名（欠席1名）

氏名	所属等	出 欠	地域	魅力	評価
長戸 和光	佐賀駅前法律事務所／牛津ロータリークラブ			◎	
古川 久美子	株式会社 城島旗染工		◎		
高元 宗一郎	西九州大学短期大学部				◎
横尾 敏史	株式会社佐賀銀行／ オプティム・バンクテクノロジーズ株式会社				○
山田 美穂	本校PTA会長	本日欠席		○	
中尾 政幸	小城市副市長		○		
金森 星奈	児童養護施設 聖華園				○
東島 杏香	鳥栖工業高等学校			○	
滝 崇麿	西九州大学（学生）		○		
江頭 かおり	本校校長		○	○	○

事務局3名

北村 昭彦	本校教頭	
石橋 邦広	本校統括事務長	
平方 伸之	本校主幹教諭	

これまでの事業についての報告

● 地域連携

○家庭クラブ

- ・牛尾山環境整備（ふるさと・夢つむぎネットワークとの連携事業）

…梅林で有名な牛尾山で梅の収穫や選定した枝の掃除などの作業を行った。

梅の実と枝を貰い、これをもとに商品化を行っている（課題研究や起業家入門Ⅱ）。

- ・老人クラブへ福寿会へのランチョンマットの贈呈



○起業家入門Ⅰ

- ・地域の課題を発見し、その解決策を考え、企画・提案する授業
- ・2年生の希望者約30名が受講
- ・6チームに分かれて企画の立案を行い、発表
- ・3チームが「佐賀さいこう企画甲子園」に（全チーム1次審査通過）、1チームが「高校生ICT活用プレゼンテーション大会」にエントリー



○起業家入門Ⅱ

- ・3年生の希望者約40名が受講（2年時に起業家入門Ⅰを受講した生徒の継続履修）
- ・各科の専門性を用いて、地域と連携したり、地域の食材を使った商品の開発等を行う
梅を用いたアロマ製品の開発、草木染等を用いた牛姫工房の作品制作、梅ジャムなど梅を使った食品や菓子の製品化、江里山地区の棚田の農産物を用いたレシピの考案など

○課題研究

- ・3年生全員が受講／チームごとに課題を設定して研究を行う
- ・チームによっては、地域との連携やボランティアをメインとした課題を設定して活動
全科共通…津の里ミュージアムでの小学生との活動
生活経営科…音楽劇を作・演出・出演すべて行い、子ども園等で披露
服飾デザイン科…小中学校への授業補助やベビー服の作成
フードデザイン科…市報掲載用のレシピ提供
食品調理科…企業から依頼を受けたレシピの提供



● 魅力発信

○YouTube 牛津高校チャンネル

現在17動画

☆授業動画

- ・生活経営科（3授業）…2年 子どもの発達と保育、福祉 3年 福祉
- ・服飾デザイン科（4授業）…3年 マイスターによる指導
2年 ファッションデザイン（ステンシル、草木染）、佐賀錦
- ・食品調理科（4授業）…3年 調理実習（オムレツ、集団給食）、
2年 中国料理、1年 親子丼
- ・起業家入門（1授業）…2年 起業家入門Ⅰ

☆ボランティア活動等

- ・家庭クラブ（1イベント）…牛尾山環境整備
- ・たなだ部（3イベント）…5月体験入部、6月入部式、7月例会
- ・パラリンピック車いすバスケットボール日本代表柳本選手来校の様子

○学校説明会等

- ・ハイスクールウェビナー（県教育委員会主催：Webによる学校紹介動画）
- ・高校進学説明相談会（県教育委員会主催：県内5か所で開催）
- ・中学校主催の高校説明会（希望する学校に出向いて説明：11校に訪問）
- ・校長による中学校訪問（校長自らが訪問：22校に訪問）
- ・県外中学校への学校訪問（佐世保地区の3校に訪問）

○体験入学等

- ・8月4日（木）開催（中学3年生189名、保護91名参加）
- ・10月18日（火）開催予定
（中学校の教員対象 7名参加予定）
- ・11月13日（日）開催予定（参加募集中）



○ 新聞

- ・森林公園のメリケントキンソウ駆除（5月2日実施、5月3日毎日新聞掲載）
- ・江里山たなだ部（5月7日実施、5月8日読売新聞、5月11日佐賀新聞掲載）
- ・牛尾山環境整備活動（6月4日実施、6月12日佐賀新聞掲載）
- ・車いすバスケットボールパラリンピック日本代表柳本選手来校（7月1日実施、7月7日佐賀、7月23日西日本新聞掲載）
- ・老人クラブへのランチョンマットの贈呈（7月7日実施、7月14日佐賀新聞掲載）
- ・ディスプレイ甲子園（8月12日審査実施、8月13日毎日、8月22日佐賀新聞掲載）

地域との連携について

● 連携活動の把握について

- 単発、継続含めると、かなりの数の活動数
 - ・まだ把握できていないところも
- 『+U×Uプロジェクト』で整理中
- 職員、生徒のマンパワーにも限界

● 継続的な活動を今後も継続するために

- 始めたときとの状況の変化に対応できているかがわからない
 - ・連携先の思いが変わっている（元々異なっていたかもしれない）

学校評価の中間評価について

● 評価（案）を『C』としているもの

<取組内容>

○共通教科の基礎学力の向上

<成果指標>

○基礎力診断テストの成績で D1 以上の生徒の割合を 80%以上にする。

<中間評価>

- ・ 9月に行った基礎力診断テストでは、2年生の D1 以上の割合が 74.4%、1年生が 51.2%と目標に届かなかった。2年生は4月と比較して割合が増加している(4月 86.1%)が、1年生は減少している(4月 66.3%)。改善の方策を急ぎ議論し、3月までに実施に移す必要がある。
- ・ 3年生は4月のみ行っており、88%と目標を達成している。

● 評価（案）を『B』としているもの

<取組内容>

- 生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動
- いじめの早期発見、早期対応体制の充実
- 志を高め、思いやりの心を持った他人のために働くことのできる生徒の育成
- 望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成
- 業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減
- 教職員のスキルアップによる業務効率化
- 選ばれる学校に向けた広報活動の工夫
- コミュニティ・スクールの効果的な運用

SAGA コラボレーションスクール事業の評価について

● 今年度の目標（事業計画より）

○地域などとの協働活動である本校の『+U×U（プラス U カケル U）プロジェクト』を通して、生徒の主体性などの資質・能力をさらに伸ばすとともに、地域をデザインし地域に新たな活力をもたらす存在としての高校を目指す。

- ・現在は地域との連携事業を把握、整理している段階
- ・次のステップに向かうために、何が必要か

○広報活動を通して、学校のみならず地域の魅力も合わせて発信し、中学生を中心とする若年層及び地域からの牛津高等学校に対する知名度及び好感度を伸ばす。

- ・やれることをやってはいるものの、反応がどのようになっているのかがわかりにくい
- ・ターゲットを意識して、適切な手立てが打てているのかが不安

● 生徒の意識調査（高校魅力化評価システム）

○県教育委員会（教育振興課）から委託されている（一財）地域・教育魅力化プラットフォームが行っている意識調査

- ・全部で90問程度の意識調査（ほとんど4段階の選択）
- ・全国で200校（島根県は全県立高）の参加

○本校で気になる意識調査結果

- ・「地域の資源や魅力について考える」の肯定的評価（3以上）の割合が44.2%（全国52.9%）。特に、2年生の割合が低い（39.9%）。
- ・「地域の課題の解決方法について考える」の肯定的評価の割合が38.0%（全国56.0%）。2年生の割合は28.6%。
- ・「今住んでいる地域の行事に参加した」の肯定的評価の割合が19.6%（全国35.2%）。2年生の割合は13.0%。
- ・「地域社会などでボランティア活動に参加した」の肯定的評価の割合が23.6%（全国32.0%）。2年生の割合は16.9%。

質問項目の「地域」の定義があいまいであり、県内各所から登校している本校では、「今住んでいる」ところでのボランティア活動はなかなか行えない現状はあるものの、全国と比べてかなり低い値であることから、授業等日ごろの活動の改善が必要と考えられる。